

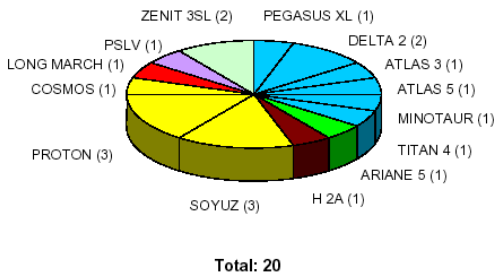
Futron Launch Report

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
May 19 – June 29			18	19	20 CCAFS NOAA N (Meteorology) Delta 2 7320	21
			22 Baikonur DirecTV 8 (Comm.) Proton	23	24	25
29	30	31 Plesetsk Foton M2 (Science) Soyuz	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16 Baikonur Progress ISS 18P (ISS) Soyuz	17	18
19	20 Sea Launch Spaceway 1 (Comm.) Zenit 3SL	21 Plesetsk Molniya TBA (Comm.) Molniya	22 Sarents Sea Cosmos 1 Solar Sail (Dvlpm.) Volna	23 Baikonur Express AM3 (Com.) Proton	24 CCAFS GOES N (Meteor.) Delta 4 M	25 Kourou Spaceway 2 and Telkom 2 (Comm,Comm) Ariane 5G
26 Uchinoura Astro-E2 (Science) M 5	27	28	29			

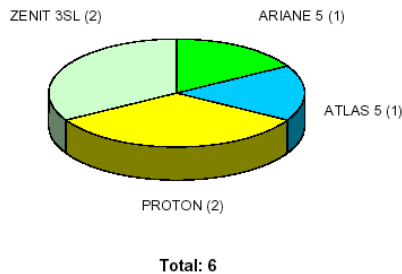
Legend: ■ USA ■ Russia ■ Japan ■ Multinational

✓ Success ✗ Failure P Partial Failure C Commercial

2005 Orbital Launches by Launch Vehicle Family

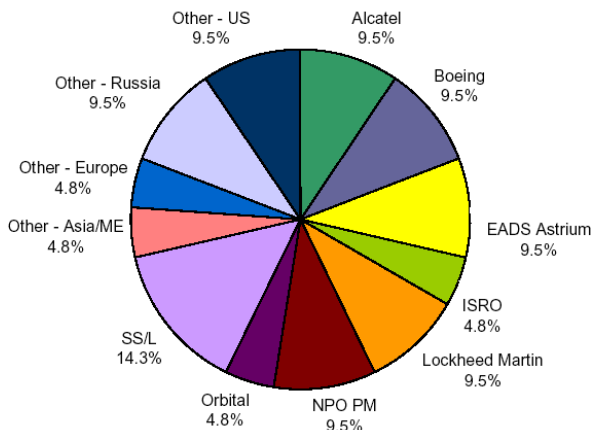


2005 Orbital Commercial Launches by Launch Vehicle Family



Futron Satellite Manufacturing Report

Manufacturer Market Share of Satellites Launched Through May 31, 2005



Manufacturer	Number	Share
Alcatel	2	9.5%
Boeing	2	9.5%
EADS Astrium	2	9.5%
ISRO	1	4.8%
Lockheed Martin	2	9.5%
NPO PM	2	9.5%
Orbital	1	4.8%
SS/L	3	14.3%
Other - Asia/ME	1	4.8%
Other - Europe	1	4.8%
Other - Russia	2	9.5%
Other - US	2	9.5%
Total	21	100%

6月7日0時59分更新 読売新聞

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050606-00000315-yom-int>

ステルス戦闘機、在韓米軍基地に配備確認

【ソウル＝福島恭二】在韓米軍基地に配備される米空軍のF117ステルス戦闘機15機の一部が、すでに基地に到着していることが、6日までに確認された。

在韓米軍司令部によると、同機は約4か月駐留する予定。韓国への派遣は2003年から毎年行っているものの、全55機の3割近くを配

備するのは今年が初めて。米軍は来年以降も派遣を継続する方針で、対北朝鮮抑止力を強化する狙いと見られる。

6月6日10時37分更 新読売新聞 -

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050606-00000001-yom-soci>

貨物100トン、シャトル改造で巨大無人ロケットに

【ワシントン＝笹沢教一】米航空宇宙局(NASA)が、スペースシャトルを改造し、巨大な無人ロケットの実用化を計画していることが、4日分かった。複数の宇宙開発関係者が明らかにした。

貨物打上げ能力は約100トンで、アポロ宇宙船を運んだ「サターン5」に匹敵し、無人ロケットとしては米国史上最大。月と火星への有人探査に必要な大型物資などを宇宙空間へ輸送する計画で、会計年度内(今年9月まで)の着手を目指し、近く概要を発表。

新ロケットは「シャトル派生型打上げロケット」と呼ばれ、外部燃料タ

ンクと左右2基の固体補助ロケットは、シャトルの技術を継承。貨物専用の使い捨て無人宇宙船を背負わせる。低軌道へ打上げ可能な物資は、シャトルの3倍以上の70～100トン。

世界のロケットの打上げ能力は現在、最大でも20トン強。NASA幹部は「ブッシュ大統領の新宇宙政策を実現するには、100トン級の輸送能力が必要」と判断した。シャトルの技術の再活用により、開発費用を低く抑えられる。

新ロケットは、2010年前後に運用が開始される見通し。

6月6日1時43分更新 (読売新聞) -

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050605-00000013-yom-pol>

日米ミサイル防衛、来年度から開発費要求へ…大野長官

【シンガポール＝小川聡】大野防衛長官は5日午後(日本時間同)、シンガポール市内のホテルで記者団に対し、日米で共同技術研究をしている将来型のミサイル防衛システムについて、「技術研究は終盤に来ており、できれば来年度から開発段階に移行したい」と述べ、開発段階に移行する方針を表明した。初年度経費として2006年度予算の概算要求に数十億円を計上したい考えだ。2011年度までに開発を終え、生産を開始したいとしている。

日米で共同技術研究しているのは、将来型の海上配備型迎撃ミサイル(直径約53センチ)。大型で防護範囲が広く、目標のミサイルとおとりを識別する高い性能を持つのが特徴だ。

日米両政府は来年3月にハワイ沖で実際に目標のミサイルを発射して迎撃実験を行い、最終的な性能の確認をすることになっている。

日米で共同技術研究をしているミサイル防衛システムに先駆けて導入が決まっている迎撃ミサイル(直径約34センチ)の防護範囲は数百キロメートルとされ、日本全土を守るためにはイージス艦2～3隻が必要とされている。

このため大野長官は「防護範囲が仮に倍になれば、日本を守るた

めに必要なイージス艦の数も半分程度にすることができる」と述べ、将来型の海上配備型迎撃ミサイルの開発・生産に早期に取り組む必要性を強調した。

開発・生産段階では、日米それぞれが技術研究を進めてきた個々の構成品などを組み合わせ、検証を行った上で一つのシステムとして完成させる。

日本政府は昨年12月、米国とのミサイル防衛のための共同開発・生産については武器輸出3原則の例外とする緩和措置をとっており、開発・生産段階へ移行できる体制を整えていた。

日米両政府は、オベリング米ミサイル防衛庁長官が近く来日した際に、具体的な開発の進め方を協議する方針だ。

大野長官はまた、国連平和維持活動(PKO)などへ対応する能力を向上するため、国際活動教育隊(PKOセンター)を来年度、静岡県御殿場市の駒門駐屯地に新設することを明らかにした。

6月5日 21時49分更新 (毎日新聞) -

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050605-0000066-mai-pol>

<ミサイル防衛>日米の共同研究、06年度から開発段階に

【シンガポール古本陽荘】大野功統防衛庁長官は5日、訪問先のシンガポールで記者団に対し、日米で進められてきた次世代のミサイル防衛(MD)システムの共同研究を06年度から開発段階に移行させる方針を表明した。06年度の概算要求に初年度経費として数十億円を盛り込む方針。年末までに閣議決定する。

大野長官は8日に防衛庁で、来日するオベリング米ミサイル防衛庁長官と会談し、開発段階への移行を表明する。米国は今年2月の日米防衛首脳会談の際、06年度米予算(05年10月から予算措置)から開発に着手する方針を日本側に伝達。大野長官の表明は米国の方針を受けたものだ。米戦略との一体化が浮き彫りになることから、政府は説明責任を問われそうだ。

大野長官は「共同研究は終盤に来ており、(成果は)かなりの確度だ」と述べ、開発段階への移行の必要性を強調。そのうえで、次世代システムでは(1)MDシステムを搭載するイージス艦1隻あたりの防

護範囲の拡大(2)ミサイル弾頭とおとりを識別する技術の向上——が図られるとの見通しを示した。また、来年3月に研究の最終段階として、日米共同で初の迎撃実験を実施する方針も明らかにした。

政府は03年12月にMDシステム導入を閣議決定。海上配備型のイージス艦搭載システムと地上配備型のパトリオットミサイルによる2段階の迎撃システムを06年度末から配備する予定。日米政府が99年から着手している共同研究はこれらの次の世代のシステムで、赤外線を使って標的を追尾する赤外線シーカーなど4分野で研究を進めてきた。04年12月の防衛大綱に関する官房長官談話の中で、MDシステムに関する日米共同開発・生産は「武器輸出3原則」の例外とすることを明記した。

6月5日 19時31分更新 (共同通信) -

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050605-0000101-kyodo-pol>

06年度から開発に移行 ミサイル防衛で日米

【シンガポール5日共同】大野功統防衛庁長官は5日午後、シンガポールで同行記者団と懇談し、日米共同技術研究を進めているミサイル防衛(MD)の海上配備型迎撃ミサイル(SM3)部品について、2006年度から量産、配備を前提とした開発段階に移行する方針を表明した。初年度経費は数十億円になるとの見通しを示し、06年度予

算の概算要求に盛り込む考えを明らかにした。

技術研究中の新型SM3をめぐっては、米側が開発段階への移行を強く要求。政府は昨年12月、移行を念頭に武器輸出3原則の緩和を閣議決定しており、その流れに沿った方針だ。これにより、米戦略との一体化が一層加速することになる。

6月5日 23時0分更新 (時事通信) -

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050605-00000960-jij-pol>

海上配備型、来年度から開発＝ミサイル防衛で数十億円を概算要求—大野長官

【シンガポール5日時事】大野功統防衛庁長官は5日午後、ミサイル防衛(MD)に関し、米国と共同研究を進めているイージス艦配備の次世代型海上システムについて「2006年度から開発段階に移行さ

せたい」と表明した。06年度予算の概算要求で初年度経費として数十億円程度を盛り込みたい考えで、今後、政府・与党内で調整する。シンガポール市内で同行記者団に明らかにした。

6月4日 14時34分更新(読売新聞) -

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050604-00000003-yom-pol>

大量破壊兵器拡散阻止で国際協力を…大野防衛長官

【シンガポール＝小川聡】大野防衛長官は4日、シンガポールで開かれている「アジア安全保障会議」(英国際戦略問題研究所主催)で講演した。

ミサイル防衛や大量破壊兵器拡散阻止構想(PSI)の重要性を指

摘した上で、「この地域における拡散を阻止するための国際的な努力が極めて重要だ」と強調。8月にシンガポールで予定されているPSIの国際共同訓練に、自衛隊の艦船と航空機を派遣する考えを表明した。

大野長官は各国軍隊の役割について、<1>災害救援<2>海上の安全保障<3>人道復興支援——の3点が重要だと指摘。「日本は平和を愛する国というだけでなく、平和を支援する国として生まれ変わらなければならない」と述べ、国際協力に積極的に取り組む姿

勢を強調した。アジア・太平洋地域の安全保障環境に関しては、「緊張緩和とはほど遠いところにある」とし、「北朝鮮の最近の核兵器保有宣言といった挑発的態度は、地域と国際社会の主要な不安要因となっている」との見解を示した。

6月3日2時46分更新 (産経新聞)

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050603-00000000-san-pol>

ミサイル防衛 レーダ情報 常時共有 日米、システム構築検討

ミサイル防衛（MD）をめぐる日米両政府は、弾道ミサイルをレーダなどで探知、迎撃するための情報共有システムの構築へ向け本格協議に入る方針を固めた。週明けに米国防総省ミサイル防衛局のオベリング局長が来日し、防衛庁幹部との間でこの方針を確認する見通し。両政府は、「MD艦」に改修された海上自衛隊のイージス艦の初配備が二年後となるため、それまでの空白期間は米海軍のイージス艦が日本周辺で迎撃態勢をとることも検討する。

海上自衛隊と米海軍は現在、イージス艦同士が、「リンク16」という最新鋭システムを通じレーダ情報をリアルタイムに共有している。敵機の飛行速度や方角などが、双方のイージス艦のスクリーンに映し出される。

有事の際は、日本国内の地上レーダや空中警戒管制機（AWACS）などをつないだ航空自衛隊の「バッジ・システム（自動警戒管制組織）」も、リンク16に連結され、情報は米側に伝わる。しかし、平時は連結していない。

北朝鮮の弾道ミサイルは約十分間で日本に着弾するが、事前に兆候がないまま突然、発射される事態に対応するには、平時からのリンク16とバッジ・システムとの連結が不可欠で、MDの情報共有ではこの点が検討課題となる。

また、米軍の変革・再編（トランスフォーメーション）の一環として米空軍は、横田基地（東京都）に移転する見通しの空自航空総隊司令部と「統合作戦センター」を設置する意向を提示している。実現すれば、日本側は弾

道ミサイルの発射を探知する米早期警戒衛星の情報をリアルタイムで共有できるようになる。

一方、海自はイージス艦四隻を、弾道ミサイルを迎撃できるスタンダードミサイル（SM3）を搭載したMD艦に改修する予定だが、一隻目の配備は平成十九年度になる。米海軍はすでに四基のSM3を保有しているとされ、オベリング局長は三月、「緊急事態には（イージス艦への）実戦配備は可能だ」と明言している。このため今後の協議で日本側は、海自のMD艦配備までの「空白の二年間」を埋めるため、北朝鮮によるミサイル発射の兆候があれば、SM3を搭載した米海軍のイージス艦を日本海に配置するよう要求していく方針だ。

北朝鮮が先月、核燃料棒の取り出し作業終了を宣言した直後、首相官邸は防衛庁にMDに関する米国との協議を加速させるよう指示した。情報共有システムの構築に関する本格協議に着手するのもこれを受けたもので、米側にしても、北朝鮮が米本土を射程に入れた長距離弾道ミサイルを開発済みだとの分析もあり、「前線」の日本のレーダ情報などを最大限活用したいとの思惑がある。

◇

弾道ミサイルの探知 日本海に配置した海自のイージス艦が高性能レーダSPY1でミサイルを探知し、飛来方向を予測。空自も全国4カ所に配備する新型地上レーダのFPS-XXで追尾する。早期探知にはミサイル発射時に放出される赤外線を探知する米国の早期警戒衛星の情報が不可欠だが、日本はリアルタイムに情報を共有できず、情報が提供されるまで約40分を要する。

6/1/2005 # 296 **France In Space** a weekly synthesis of French space activities based on French press.

It is provided by the CNES office in Washington D.C.. Contact: france-in-space@ambafrance-us.org



>>>INDEX<<<

欧州委員会は将来の欧州宇宙政策の最初のエレメントを提示

- 1: EC PRESENTS FIRST ELEMENTS FOR FUTURE EUROPEAN SPACE POLICY

欧州の軌道上オンボード FOTON-2M の科学実験

- 2: EUROPEAN SCIENTIFIC EXPERIMENTS IN ORBIT ONBOARD FOTON-2M

SWAN (Solar Wind ANisotropies)は太陽の球の新しい情報を明らかに

- 3: SWAN REVEALS NEW INFORMATION ON THE HELIOSPHERE

気象予測に関して欧州の協定が更新された

- 4: EUROPEAN AGREEMENT RENEWED FOR WEATHER FORECASTING

アルジェでの宇宙のセミナーは災害マネジメントがテーマ

- 5: A SPACE SEMINAR IN ALGIER DEALS WITH DISASTER MANAGEMENT

要約

- 6: IN BRIEF

欧州委員会は将来の欧州宇宙政策の最初のエレメントを提示

- 1: EC PRESENTS FIRST ELEMENTS FOR FUTURE EUROPEAN SPACE POLICY

The European Commission (EC) issued on May 9 a first draft of a future European Space Policy, which is expected to be devised and approved before the end of 2005. It specifies priorities and funding principles as well as a common European policy regarding the space industrial sector and the international cooperation.

First, the European Space Policy is justified because of the significant role played by space activities in the every-day life of European citizens. Galileo remains the first priority for the European Union (EU), while GMES (Global Monitoring for Environment and Security) is proposed to become "the second EU flagship". Among these two projects, satellite communications research and space exploration are other specific areas of interest.

Second, the costs of these projects will be defined by the EU, the European Space Agency (ESA) and member States in the coming months. For its part, the EU will contribute to the funding of space-related activities through the trans-European networks (TEN) programme for Galileo and through the 7th Framework Programme for several other activities.

Finally, the EC presents a two-fold policy approach to implement the

欧州の軌道上オンボード FOTON-2M の科学実験

- 2: EUROPEAN SCIENTIFIC EXPERIMENTS IN ORBIT ONBOARD FOTON-2M

The Foton-2M spacecraft carrying a mainly European scientific payload was put into orbit by a Russian Soyuz launcher on May 31, 2005. Under an agreement signed in 2003, the Foton-2M mission is jointly operated by the European Space Agency and the Russian Space Agency Roskosmos. It will be conducted in Low-Earth Orbit during 16 days.

European Space strategy. An industrial policy has to be developed for Europe as a whole, in order to provide "industrial and critical technological sources and competences" and "a globally competitive space industry". The EC gives also recommendations for an international policy, whose key elements are: a strengthened partnership with Russia, a further development of the longstanding cooperation with the United States as well as continuous cooperation actions with Eastern and Southern neighbouring countries and developing nations.

The initial draft of the European Space Policy will be presented to the Space Council planned for 6-7 June in Luxembourg. Following input from Member states, a final policy is expected to be approved by ESA and EC representatives by late November. [European Commission 05/23/2005, AFP 05/24/2005, Space News 05/30/2005]

The European payload consists of 39 experiments mainly focused on fluid physics, chemistry, material science and biology. In particular, the Fluidpac experiment aims at studying heat transfer in microgravity to develop new heat-exchangers designs. Chemical diffusion experiments called SCCO (Soret Coefficients in Crude Oil) will contribute to more efficient oil exploration processes. Moreover,

material science investigations in the Agat and Polizon facilities will help to develop better semiconductor alloys. Finally, biological research is highly represented on the scientific platform with the

SWAN (Solar Wind ANisotropies)は太陽の球の新しい情報を明らかに

- 3: SWAN REVEALS NEW INFORMATION ON THE HELIOSPHERE

SWAN (Solar Wind ANisotropies) is one of the twelve instruments on board the ESA/NASA SOHO (SOlar Heliospheric Observatory) spacecraft launched in 1995. This sensor works to detect hydrogen atoms of the heliosphere, the large envelope of plasma emitted permanently by the Sun, and analyse their velocity. **SWAN** is the result of a collaborative effort between the Finnish Meteorological Institute and the Service d'Aéronomie, one department of the French Centre for the Scientific Research (CNRS).

Recent observations by the instrument have shown a deflection of the

気象予測に関して欧州の協定が更新された

- 4: EUROPEAN AGREEMENT RENEWED FOR WEATHER FORECASTING

The European Space Agency (ESA) and the European Centre for Medium-Range Weather Forecasts (ECMWF) have signed a new agreement to exchange information and expertise in the field of Earth observation.

The two international organisations have worked together since 1983, ECMWF being a major operational user of results from ESA-developed meteorological satellites. It integrates in particular data from ERS-2 (European Remote Sensing) and Envisat spacecrafts, as well as from the Meteosat series of satellites into its numerical weather prediction models. ECMWF also contributes to the validation

アルジェでの宇宙のセミナーは災害マネジメントがテーマ

- 5: A SPACE SEMINAR IN ALGIER DEALS WITH DISASTER MANAGEMENT

The United Nations Office for Outer Space Affairs, the Algerian Space Agency and the European Space Agency are jointly holding a seminar on the Use of Space Technology for Disaster Management from May 29 to June 2 in Alger. About 120 experts of international and regional organizations as well as representatives of academic institutions and space agencies are gathering to study how cooperation

要約

- 6: IN BRIEF

Satellite-fleet operator Eutelsat has issued a request for bids from satellite manufacturers for a telecommunications and television broadcast satellite called W7. This spacecraft should strengthen the

Biopan experiment, which is flying on a Foton spacecraft for the fifth time. [ESA 05/31/2005]

flow of hydrogen atoms from the direction of incoming gas. This discovery contributes to better modelling of the heliosphere, including its size and shape as well as measuring the local magnetic field. In the next few years, the scientists should be able to validate their models if SWAN results are confirmed by further elements. The Voyager-1 spacecraft, which is at the outer edge of the Solar System and about to exit the heliosphere, and the IBEX (Interstellar Boundary Explorer) mission both led by NASA should bring complementary contributions. [E-Space & Science, the Scientific Bulletin of CNES 05/26/2005]

and calibration of weather- and climate-related instruments and sensors carried by ESA spacecrafts.

In addition, this new agreement strengthens the cooperation in the ESA's future Earth Explorer missions. ECMWF will use data provided by the ADM-Aeolus (Atmospheric Dynamics Mission) and SMOS (Soil Moisture and Ocean Salinity) missions, both due for launch in 2007. Further, the two organisations will share information on their activities related to the international initiative GEOSS (Global Earth Observation System of Systems). [ESA 06/01/2005]

on space technologies could improve the prevention and management of natural disasters as well as the rehabilitation of damaged areas. Among others themes, the seminar is focusing on prevention of wild fires, seismic risks, floods, entomological risks and desertification. [AFP 05/18/2005]

company's presence in several African markets. [Space News 05/30/2005]

L-3 Communications confirms plan to purchase Titan

L-3 Communications confirmed it will purchase Titan for \$1.97 billion in cash, according to media reports. Pending lawsuits against Titan played a role in the negotiations. Last year, Titan's failure to resolve a foreign bribery case caused a planned merger with Lockheed

Martin to collapse. The purchase is expected to close later this year. The Wall Street Journal (subscription required) (6/3), The Washington Post/Associated Press (6/3)

2005年6月4日 0:46 AIA dailyLead

国防総省は空軍の取得政策のレポートを完成

Pentagon finishes report on Air Force acquisitions policy

The Department of Defense has finished a 256-page report on buying practices by the Air Force, the New York Times reports. The report examines a \$23 billion contract for tankers with Boeing and officials

responsible for overseeing the acquisition policy. The report, which makes several recommendations, has not been made public. The New York Times (6/3)

2005年6月4日 0:46 AIA dailyLead

NASAの科学者はディスカバリの燃料タンクをアトランティスに予定したものと交換

NASA scientists start switching out Discovery's fuel tank

Scientists at Kennedy Space Center will soon start switching Discovery's fuel tank with a tank planned for the Atlantis mission, Florida Today reports. The new tank is modified to resolve safety

concerns. The shuttle may be attached to the new tank on Monday, one day earlier than expected. Florida Today (Melbourne) (6/3)

6月3日 21時1分更新 (時事通信) -

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050603-00000745-jij-soci>

8月に打上げ延期=東大の超小型衛星

東大の学生らが作り、宇宙航空研究開発機構が新型太陽電池パネルの搭載実験を行う超小型衛星「サイ5」のロシアのロケットによる

打上げが、6月末から8月25日に延期された。学生を指導する中須賀真一教授が3日、明らかにした。

2005年6月2日 18:41 WIRED NEWS (2005/06/02)

『グーグル・マップス』から広がる新サービス(上)

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050602303.html>

米グーグル社が今年開始した地図サービスの『グーグル・マップス』の情報を、ウェブ上で提供されている他の情報と組合せ見せる第三

者のサイトが出現している。地図に組合せる情報は、住宅情報や交通情報、写真など様々だ。

2005年6月3日 18:40 WIRED NEWS (2005/06/03)

『グーグル・マップス』から広がる新サービス(下)

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050603307.html>

2005年6月2日 18:41 WIRED NEWS (2005/06/02)

米下院議員、小惑星の衝突に備えた対策機関の設置を支持

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050602302.html>

2036年に地球に衝突するおそれがある小惑星について、元宇宙飛行士が対策機関の設置と宇宙ミッションを提案していたが、このほど

米下院科学委員会の議員も、対策機関の設置に向けて行動を起こすことを明らかにした。

「群知能」を持つ無人飛行機の編隊

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050602301.html>

エセックス大学の『ウルトラスウォーム・プロジェクト』では、群知能とワイヤレス・クラスター・コンピューティングを組み合わせ、「全体が1つの知能を持つかのように状況判断できる」無人航空機(UAV)の飛行

隊を作ろうとしている。実験にはラジコン玩具のヘリを使い、世界一小さな空飛ぶウェブサーバと呼べるものをすでに1機作り上げている。

2005年6月3日 1:10 June 2, 2005 - AIA dailyLead

ロッキードと国防総省は JSF への予算措置に圧力

Lockheed, Pentagon press for funding for JSF

Committees in the House have voted to slash \$150 million in funding that would be used to pay for materials and services for the first five Joint Strike Fighters, the Fort Worth Star-Telegram reports. Officials at the Department of Defense and Lockheed Martin, the plane's prime

contractor, are trying to prevent the cuts. Some members of Congress want to see more progress made on the plane before they approve more funds. Fort Worth Star-Telegram (Texas) (6/2)

2005年6月3日 1:10 June 2, 2005 - AIA dailyLead

ロッキードは木星に向かう NASA の宇宙探査機を製造する予定

Lockheed to build NASA space probe bound for Jupiter

Lockheed Martin will build a space probe to study Jupiter, the Denver Rocky Mountain News reports. The probe is a key part of a NASA mission. Scientists hope the probe helps them learn how the planets

were formed. The \$700 million project is dubbed the Juno mission. Denver Rocky Mountain News (6/2)

2005年6月3日 1:10 June 2, 2005 - AIA dailyLead

シャトルは予定より早く打上げパッドに戻るかもしれない、NASA 発言

Shuttle may return to launch pad earlier than planned, NASA says

The shuttle Discovery could return to its launch pad earlier than expected after it gets a new fuel tank, a NASA spokeswoman said. The spacecraft is scheduled to roll out to the launch pad on June 14,

but it may move a few days earlier, Florida Today reports. NASA expects the shuttle to fly between July 13 and July 31. Florida Today (Melbourne) (6/2)

2005年6月2日 5:33 ASIAN TECHNOLOGY INFORMATION PROGRAM (ATIP)

<http://www.atip.org/public/atip.reports.05/atip05.027.pdf>

韓国における GIS/GPS 技術開発のレビュー

ATIP05.027 Review of GIS/GPS Technology Development in Korea

ABSTRACT: This report reviews the current status of GIS/GPS technology development in Korea and the Korean Government's research and development plans with these two technologies.

KEYWORDS: Consumer Electronics, Defense Applications, Electronic Commerce, Government Policy on Science and Technology, Information Systems, Logistics, Space Satellite, Telecommunications/Internet, Transportation.

COUNTRY: Korea

DATE: 1 June 2005

REPORT CONTENTS

1. INTRODUCTION

EXECUTIVE SUMMARY

2. CONSEQUENCE OF GIS/GPS TECHNOLOGY DEVELOPMENT

3. CURRENT STATUS OF GIS/GPS TECHNOLOGY DEVELOPMENT

3.1 Brief Status of GIS/GPS Technology by Region of the World

3.2 Status of GNSS Technology Development in Korea

4. RESEARCH AND DEVELOPMENT GOALS IN KOREA

5. CURRENT RESEARCH RESOURCE STATUS AND PROMOTION PLAN

6. CONCLUSION

7. REFERENCES

8. CONTACTS & WEBLINKS

To securely purchase the full version of this report for \$250, please

visit: http://www.atip.org/REPORTSMATRIX/public/year2005_total.html

2005年6月3日 10:04 ジェトロ

EU 首脳、残り 14 ヶ国の批准手続き継続を強 —オランダ国民投票で EU 憲法条約否決— (EU) ブリュッセル発

EU 首脳は 6 月 1 日、オランダの国民投票で EU 憲法条約が否決されたことに対し、結果を尊重すると述べ、16、17 日開催予定の欧州

理事会 (EU 首脳会議) の場を利用して、EU 憲法条約批准問題の現状分析を行う考えを明らかにした。

2005年6月3日 10:04 ジェトロ

取締役の報酬公開義務化へ、閣議決定 (ドイツ) ベルリン発

企業の取締役の報酬公開を義務付ける法案が閣議決定された。各企業の取締役は、固定給、ボーナスなどの成功報酬、ストックオプション、退職金などを公開することが義務付けられ、違反者に対しては、

最高 5 万ユーロの罰金が科されることになる。産業界からは反発がみられるものの、年内に施行される見通しだ。

2005年6月3日 10:04 ジェトロ

拡大・加速する中国企業の海外資源獲得戦略—経済ナショナリズムで多国籍企業に挑戦—

中国の国有石油会社・中国海洋石油 (CNOOC) が、米国の独立系大手ユニコルを 130 億ドルで買収しようと動いたのは、今年初めのことであった。アジア各地に多くの石油利権を持つユニコルへの巨額

の買収提案は、欧米石油メジャーズに対する中国企業からの本格的な挑戦として、大きな関心を集めた。

2005年6月3日 4:29 Space Systems FC

NASA は新しいフロンティア・プログラムに対してミッション・コンセプト・スタディを選定

NASA Chooses Mission Concept Study for New Frontiers Program

PASADENA - A mission to fly to Jupiter, called Juno, will proceed in development to a preliminary design phase. The mission is the second

in NASA's New Frontiers Program. The mission proposes to place a spacecraft in a polar ...

アリアン 5 ECA は 6 月遅くの打上げウインドウに

Ariane 5 ECA Launch Window Opens in Late June

KOUROU, French Guiana - On the night of Friday, June 24, Arianespace will use an Ariane 5 ECA to launch the Spaceway 2 and

Telkom 2 spacecraft. The launch window will open from 9:03 p.m. to 9:36 p.m., Kourou time. Spaceway 2 ...

2005年6月2日 2:04 June 1, 2005 AIA dailyLead

レポート:NASA はスペースステーションの面倒をみるのにもっと安い方法を見つけねばならない

Report: NASA should find cheaper ways to service space station

NASA did not explore safer and cheaper ways to deliver supplies to the International Space Shuttle, a government audit found. NASA has 28 space shuttle flights scheduled to the station during the next five

years, and some agency leaders say that is too many. Lawmakers want the agency to consider using expendable rockets to lower the cost of space station missions. Florida Today (Melbourne) (6/1)

2005年6月2日 2:04 June 1, 2005 AIA dailyLead

NASAのグリフィン長官はジョンソンスペースセンタが月ミッションの鍵になると発言

NASA's Griffin says Johnson Space Center key to moon mission

NASA administrator Michael Griffin said Houston's Johnson Space Center is important to the agency's plan to build a new spacecraft and send Americans back to the moon, the Houston Chronicle reports.

Griffin made his first visit to the space center on Tuesday. He hopes the first flight of the Crew Exploration Vehicle will take place in 2010. Houston Chronicle (6/1)

日刊航空通信

*2005.5.27 光通信時代へ/レーザ光の捕捉・追尾技術など実証

JAXA, 光衛星間通信実験衛星 OICETS を報道公開

*2005.5.26 準天頂 / ADEOS-II 後継衛星などが事前評価の候補

宇宙委、推進部会でプロジェクト評価実施を決定

mbco, 高速バスにモバイル放送サービスを提供 mbco= モバイル放送(株)

バス部担当の Smartsat は 19 年度内に打上げへ

三菱重工業の宇宙機器部門概況(16 年度下期)(1)

*2005.5.25 米国ロケットでの HTV 打上げへ技術検討作業を支援

三菱重工業の宇宙機器部門概況(16 年度下期)(2)

*2005.5.24 防災は”繋がる”ことが必要 / 大容量化以外の道筋出る

第一回宇宙通信の在り方に関する研究会 WG が開催

温室効果ガス観測技術衛星シンボが 27 日に開催

*2005.5.20 JAXA 宇宙科学研、小型副衛星「INDEX」報道公開

8月中旬打上げ予定、工学/科学ミッションを実施

宇宙開発委、森尾/野中両委員の担当変更

*2005.5.19 X線天文衛星 ASTRO-EII を6月26日打上げ

JAXA 宇宙科学研究本部、使用ロケットは M-V

JAXA、宇宙教育センターを開設/19日開所式

*2005.5.18 ALOS/MTSAT-2 の確実な打上げに邁進

三菱重工の宇宙機器部門概況(16 年度下期)

*2005.5.16 今後は衛星の優位性を発揮する戦略的市場展開を図る

JSAT 決算、地上光回線との競争などで減収減益

JSAT 役員人事(6月28日付け)

*2005.5.11 アストロリサーチ、07年に米国で通信衛星事業展開へ

ADASS 計画、杉木取締役社長インタビュー(1)

*2005.5.10 LM、(株)放送衛星システムの BSAT-3a 衛星受注

兼松が販売サポートを担当 / 今月中に正式契約へ

LM= Lockheed Martin

2005年6月4日 0:46

AIA dailyLead

SmartQuote

「進み続ける先立ち、人は常に過去を後ろに押しやる」

" You've always got to put the past behind you before you can move on."

--Tom Hanks in "Forrest Gump"

2005年6月3日 1:10 June 2, 2005 - AIA dailyLead

「勝っても負けても同じに反応できるなら、それは大きな達成というもの。その性質が残った人生にいっしょにあるのだから重要」

"If you can react the same way to winning and losing, that is a big accomplishment. That quality is important because it stays with you the rest of your life."

--Chris Evert, tennis player

[国際関係・一般]

ミサイル防衛 次世代「日米で共同開発」 防衛庁長官 来年度に予算化

朝日新聞 05年06月06日 朝刊 1面 4段 1162

ミサイル防衛 来年度、開発段階に 大野防衛長官表明 数十億円概算要求へ

毎日新聞 05年06月06日 朝刊 1面 3段 1436

ミサイル防衛 来年度から日米共同開発 防衛庁長官 海上型「数十億円要求」

東京新聞 05年06月06日 朝刊 1面 4段 1963

海上型ミサイル防衛 防衛庁長官 来年度から開発段階 防護範囲を拡大

産経新聞 05年06月06日 朝刊 2面 3段 1815

防衛長官方針 ミサイル防衛 来年度、開発へ移行 数十億円予算要求

読売新聞 05年06月06日 朝刊 1面 5段 1296

日米 次世代迎撃ミサイル 来年度から共同開発 防護範囲1000キロに拡大

日本経済新聞 05年06月06日 朝刊 1面 4段 1617

米国防総省高官 北朝鮮の核開発、国連安保理付託 「数週間内に判断」

読売新聞 05年06月06日 朝刊 2面 3段 1304

中国軍需産業改革が加速 民需伸ばし脱赤字／民間参入で技術吸収

読売新聞 05年06月06日 朝刊 4面 5段 写表 1317

台湾 中国射程のミサイル実験成功

産経新聞 05年06月06日 朝刊 7面 1段 1840

台湾 地元紙報道 巡航ミサイル実験成功 上海、南京など射程に

東京新聞 05年06月06日 朝刊 7面 3段 1988

主張＝日米防衛首脳会談 共同防衛の強化は当然だ

産経新聞 05年06月05日 朝刊 2面 3段 1744

沖縄米軍基地日米防衛会談 「目に見える負担軽減を」

読売新聞 05年06月05日 朝刊 2面 2段 1227

クローズアップ2005＝米軍再編と沖縄負担軽減

防衛首脳会談で日米、依然温度差 最後はトップ決断

毎日新聞 05年06月05日 朝刊 3面 8段 写表 1388

第四の極 中国＝第2部 米国のいらだち(3)

外交パワー膨張 けん制へインドと連携も

日本経済新聞 05年06月05日 朝刊 1面 6段 写 1518

北朝鮮、ステルス配備非難 南北記念行事「開けぬ」

読売新聞 05年06月04日 朝刊 7面 2段 0378

シリアがミサイル3発を試射

産経新聞 05年06月04日 朝刊 6面 1段 0794

米国紙報道 シリアが4年ぶりミサイル発射実験

東京新聞 05年06月04日 朝刊 6面 1段 0895

日米両政府 次世代MD来年日米発射試験

産経新聞 05年06月02日 朝刊 5面 1段 1483

ハタミ政権8年 イラン改革の実像(上)＝

石油の金把握高成長 「もう一つの政府」確執も

朝日新聞 05年06月03日 朝刊 8面 4段 写図 1199

ミサイル防衛 日米、システム構築検討

レーダ情報常時共有

産経新聞 05年06月03日 朝刊 1面 5段 1671

不明米兵 北朝鮮が遺骨収集中止

毎日新聞 05年06月03日 朝刊 6面 2段 1401

米兵の遺骨捜索 北朝鮮軍が「取りやめ」

朝日新聞 05年06月02日 朝刊 4面 1段 0924

[宇宙・航空・科学]

NASA計画 シャトル改造巨大無人ロケット

貨物100トン載せ宇宙へ

読売新聞 05年06月06日 朝刊 1面 3段 図 1298

国際宇宙ステーション 宙に浮く700億円施設

日本が負担・製造打上げ中止？

産経新聞 05年06月06日 朝刊 3面 5段 写 1819

日本航空宇宙工業会の田崎雅元会長

世界市場への切込みが課題

東京新聞 05年06月02日 朝刊 7面 2段 写 1638

宇宙航空研究開発機構 天文衛星打上げ延期

読売新聞 05年06月02日 朝刊 33面 1段 1120

宇宙航空開発機構 X線天文衛星打上げ延期

日刊工業新聞 05年06月02日 朝刊 25面 1段 0216

宇宙航空研究開発機構 来月に X線天文衛星
打上げ延期

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月02日 朝刊 10面 1段 2140

宇宙航空研究開発機構 M5ロケット打上げ延期

産経新聞 05年06月02日 朝刊 29面 1段 1557

M5ロケット打上げ部品交換で来月に延期

毎日新聞 05年06月02日 朝刊 3面 1段 1164

JAXA 次世代太陽電池を試験

東大の超小型衛星を活用

日刊工業新聞 05年06月02日 朝刊 25面 4段 0210

[\[宇宙利用・宇宙からの観測・宇宙環境利用・宇宙実験\]](#)

関東総合通信局 「ひまわり6号」に無線局免許交付

今後、気象観測、航空管制に活用

電波新聞 05年06月06日 朝刊 17面 4段 図 0228

東京大や広島大、国立天文台などの研究グループ

03年の超新星爆発 「ガンマ線バースト」伴う

産経新聞 05年06月06日 朝刊 9面 4段 1852

東大 鉄が最も少ない星 第2世代と解明

星の起源論争決着へ

日刊工業新聞 05年06月03日 朝刊 27面 2段 0209

ドイツ研究所と名大グループ 宇宙の歴史137億年を再現

コンピュータで大規模分析

中日新聞 05年06月02日 朝刊 29面 4段 写 2145

青鉛筆＝火星の空を横切る流星を米航空宇宙局の

火星探査車スピリットが撮影していた

朝日新聞 05年06月02日 朝刊 39面 1段 写 1020

社説＝宇宙空間で防菌防黴の研究を

薬事日報 05年06月03日 朝刊 2面 2段 0867

JF全漁連 モバイル放送、1日から

漁業者向け海洋情報 サービス試験提供開始

日刊水産経済新聞 05年06月02日 朝刊 2面 4段 0897

[防災・環境・資源・エネルギー]

国交省 風の道 今夏に都内で実測調査 ヒートアイランド対策へ反映

日刊建設工業新聞 05年06月06日 朝刊 2面 3段 0526

医薬品医療機器総合機構 審査・安全業務の現状報告

対応の遅れを反省 迅速化目指し体制整備

薬事日報 05年06月06日 朝刊 2面 4段 0672

医薬品医療機器総合機構 判定業務を効率化

増える救済申請に対応 10月にも実施

薬事日報 05年06月06日 朝刊 1面 2段 0670

医薬品医療機器総合機構まとめ 医薬品の

副作用被害に対する救済制度 1000件近く未処理

化学工業日報 05年06月06日 朝刊 3面 1段 0268

鉛フリー特集 鉛フリー実装 各社の主力製品 事業戦略

日本スベリア社弘輝／弘輝テック他

電波新聞 05年06月06日 朝刊 13面 6段 0214

国連環境計画 世界各地で進む環境破壊の実態を捕らえた

衛星写真集を公表中国黄河河口 21年で減った緑

産経新聞 05年06月05日 朝刊 1面 2段 写 1739

シベリア西部の大型湖1000個減る 温暖化が影響

読売新聞 05年06月05日 朝刊 2面 1段 1230

東北地方整備局 洪水被害ひと目で

シミュレーションホームページで公開 阿武隈川下流域堤防決壊を想定

河北新報 05年06月05日 朝刊 23面 6段 2199

厚労省 添付文書改定を指示 メドトロニックの

ペースメーカー X線照射中にリセット

薬事日報 05年06月03日 朝刊 2面 2段 写 0868

損保事業総合研究所 6月15日に特別講座

キャッシュフローと地震対策

保険毎日新聞 05年06月03日 朝刊 2面 3段 1112

富士通エフ・アイ・ピー ソフト発売 大気分析

高速・高精度で ウィンドウズ対応 研究機関向け拡販

日刊工業新聞 05年06月03日 朝刊 9面 4段 0068

東邦ガスと名大が試算 水素エネの効率活用

家庭とFC車で併用 使用量最大14%削減

日刊工業新聞 05年06月03日 朝刊 14面 4段 0103

星和電機 ノイズ吸収シート来月発売

ハロゲンフリーで電磁波を制御

電波新聞 05年06月02日 朝刊 5面 2段 写 0285

[技術・産業]

ユニバーサル社会 アメリカ視察報告(上)＝

車いすでも駅スイスイ 券売機点字や音声案内

読売新聞 05年06月06日 朝刊 25面 4段 写 1357

東芝ホームライティング 体感ショールーム開設 照明器具350種展示

日刊工業新聞 05年06月06日 朝刊 12面 3段 0067

タイコエレクトロニクスの「高電圧リレー」テクノロジー 真空中で高電圧スイッチング

電波新聞 05年06月06日 朝刊 5面 4段 写表 0194

多摩美術大学 家電操作やメニュー表示簡単 「知能テーブル」試作

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月06日 朝刊 8面 3段写 2321

理化学研究所 システムバイオロジー研究 英エンジンバラ大と連携

専門組織を整備 解析ツールなど開発

化学工業日報 05年06月06日 朝刊 1面 5段 0252

TDK 通信関連デバイス 次世代製品の開発強化 UWB、

車載用準ミリ波など世界市場に照準

化学工業日報 05年06月06日 朝刊 9面 5段 写 0298

材料設計支援システム 「OCTA」普及に弾み 導入用CDに大きな反響

化学工業日報 05年06月06日 朝刊 9面 4段 0299

民生用電子機器4月実績 国内出荷、17カ月連続の増加に

化学工業日報 05年06月06日 朝刊 9面 1段 表 0302

7月の「ロボカップ2005世界大会」

レスキューロボの第一人者らが参加

日刊工業新聞 05年06月03日 朝刊 1面 2段 0006

強さの秘密 コニカ・ミノルタ・ホールディングス(9)＝

プリンター技術 ジャンルトップを狙え

日刊工業新聞 05年06月03日 朝刊 3面 7段 写 0022

八木アンテナ UHFアンテナ「ウーパ」に

新色3カラー追加し発売 地上デジタル放送対応

電波新聞 05年06月03日 朝刊 19面 2段 写 0343

北京 電子機器などの廃棄処分増加

フジサンケイビジネスアイ 05年06月03日 朝刊 14面 1段 1964

TDK 車のレーダ開発 障害物、近距離も検知

事故防止に一役

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月03日 朝刊 1面 4段 2239

テクトレンド＝システム生物学 近づく実用化

糖尿病診療を支援 予想上回る速度で進展

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月03日 朝刊 6面 5段 写 2282

セックがシステム開発 複数のロボット連携

作動情報を仲介・伝達

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月03日 朝刊 21面 3段 2384

工場ルポ＝日油技研工業 川越工場 火工品から

海洋機器まで製造 豊富な蓄積技術武器に

化学工業日報 05年06月03日 朝刊 5面 4段 写 0373

鹿島 3次元レーザー画像処理技術 石垣修復精度高める

築城時の状況再現

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月03日 朝刊 12面 3段 2345

鹿島 レーザ測量し画像処理 築城当時をシミュレート

石垣を3次元再現

建設通信新聞 05年06月03日 朝刊 2面 5段 図 0575

鹿島が3次元修復システム 石垣を築城時に再現

画像処理技術など組み込み

関電子会社がい子製造の大トー 耐熱性磁器で商機探る
ディスプレイ製造架台など応用分野拡大へ

電気新聞 05年06月03日 朝刊 4面 4段 写 0441

リードエグジビションジャパン 22日から
産業用バーチャルリアリティ展

建設通信新聞 05年06月03日 朝刊 2面 1段 0588

海外ハイテクフラッシュ=米デューク大学
3次元で心臓画像描く装置開発

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月02日 朝刊 10面 1段 2137

石川島播磨重工業 造船部門に3次元CAD採用

日本経済新聞 05年06月02日 朝刊 13面 1段 1349

三井造船が引渡し パナマ向け二重船殻VLCC

日刊工業新聞 05年06月02日 朝刊 6面 1段 写 0047

先端技術大賞 文部科学大臣賞
森田恵美さんが受賞

産経新聞 05年06月02日 朝刊 8面 1段 1517

イー・アクセスとソフトバンク 携帯電話参入めぐりしのぎ
NTTドコモとボーダフォン既存2社も名乗り

日刊工業新聞 05年06月02日 朝刊 9面 3段 0081

みずほ情報総研 MEMS関連事業に注力
培ったシミュレーション技術生かす

電波新聞 05年06月02日 朝刊 6面 3段 写 0292

デジタルチューナー内蔵DVDレコーダ 電機大手、
相次ぎ発売 高価格でも人気、夏の主力商品

産経新聞 05年06月02日 朝刊 8面 5段 写表 1508

松下電器 DVDレコーダ発売 デジタル放送受信可能

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月02日 朝刊 7面 3段 2116

システムズ・デザイン データ電子化施設
短期受注向け安価に 投資抑制汎用機器を活用

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月02日 朝刊 17面 5段 2191

[通信・放送・IT]

とれんどサーチ=通信コスト管理ビジネス

電話・インターネット料金、賢くチェック

朝日新聞 05年06月05日 朝刊 205面 4段 図 1159

東大 遠隔操作システム開発 ロボット内で操縦気分

日本経済新聞 05年06月06日 朝刊 23面 2段 写 1695

KDDI 衛星携帯電話5年ぶり復活

毎日新聞 05年06月02日 朝刊 9面 1段 1207

KDDI 子会社 衛星携帯電話5年ぶり再開

読売新聞 05年06月02日 朝刊 8面 1段 1081

KDDIネットワーク&ソリューションズ

衛星携帯電話イリジウム 国内で開始

電気新聞 05年06月02日 朝刊 4面 1段 0443

KDDI子会社 衛星携帯電話の「イリジウム」再開

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月02日 朝刊 3面 2段 2096

ノキア ハイエンドの基地局制御装置

生産部門をインドに設立

電波新聞 05年06月02日 朝刊 3面 3段 0261

IT見本市 コンピューテックス台北 脱「パソコン下請け」

台湾各社走る 太極拳ロボ出展独自ブランドPC

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月03日 朝刊 2面 6段 写 2243

BSデジタル放送5社の2005年3月期決算

全社最終赤字 黒字化なお時間

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月03日 朝刊 3面 3段 表 2251

[経営・人]

三菱レイヨン 配当利回り1.81%連続増配方針

再来期10円配も 炭素繊維の大手 航空機関連中核銘柄

株式新聞 05年06月06日 朝刊 5面 4段 写図表 0800

国際航空運送協会 ジョバンニ・ビジニャーニ事務総長

東京総会で窮状訴える「燃料高騰、経営を圧迫」

日本海事新聞 05年06月06日 朝刊 4面 3段 0746

経営革新法承認＝岡山県・28件

日刊工業新聞 05年06月06日 朝刊 18面 1段 0119

アエロフロート・ロシア航空副社長に聞く 日露線増便には慎重姿勢
収益率路線特化で向上

フジサンケイビジネスアイ 05年06月06日 朝刊 9面 4段 写 2126

小林慶一郎のディベート経済＝安全と利益相反するか
対策講じるとコスト発生 「人命第一」で信頼も増す

朝日新聞 05年06月06日 朝刊 11面 4段 写 1197

フロントランナー＝ヴィレッジヴァンガード
コーポレーション社長 菊地敬一さん

朝日新聞 05年06月04日 朝刊 201面 7段 写 0329

M&Aと企業防衛＝政府指針、司法が追認 ニレコ「新株」差し止め
平時防衛要件示す 株主意思反映求める

読売新聞 05年06月02日 朝刊 9面 6段 写図表 1089

医療ルネサンス がん治療の後遺症
中島みちさんの体験(3)＝患者に届かぬ対策情報

読売新聞 05年06月02日 朝刊 20面 4段 写 1107

東京地裁 ニレコ防衛策 仮処分決定
毒薬条項差し止め 初の司法判断

産経新聞 05年06月02日 朝刊 9面 4段 1523

航空機関連 再飛翔 住友チタニウム
上場来高値 東邦テナックス 新高値

株式新聞 05年06月02日 朝刊 2面 4段 図 0816

岡本昌巳の先取り作戦＝住友チタニウムなど
航空機関連始動 漁網の中国需要拡大で日東網

株式新聞 05年06月02日 朝刊 3面 4段 写図 0821

国内産地 輸入切り花にどう対抗(5)＝
海外の生産拠点 高い技術で自己防衛(おわり)

日本農業新聞 05年06月02日 朝刊 5面 4段 写 0866

スターフライヤーが増資

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月02日 朝刊 19面 1段 2229

スターフライヤー 第5次第三者割当

増資実施 資本金18億円超に

西日本新聞 05年06月01日 朝刊 9面 2段 2045

スカイネットアジア航空社長 エア・ドゥ副社長の

藤原民雄氏に 後任は政策銀小林茂氏

北海道新聞 05年06月01日 朝刊 3面 3段 1809

[航空輸送・エアライン]

大韓航空 関空ー仁川に初の深夜・早朝便運行

フジサンケイビジネスアイ 05年06月06日 朝刊 8面 1段 2119

深セン航空の民営化 無名の2社が株式落札 マネーゲームの憶測呼ぶ

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月06日 朝刊 7面 2段 2314

インド 格安航空相次ぎ参入 各社積極増便 半額以下の路線も

日本経済新聞 05年06月06日 朝刊 6面 3段 1645

日航、国際運賃値上げ 来月から

中国新聞 05年06月04日 朝刊 8面 3段 1005

日航国際運賃値上げ 燃料高騰来月から

西日本新聞 05年06月04日 朝刊 8面 3段 1059

JAL、国際線値上げ 200ー2500円 今年3回目

日本経済新聞 05年06月04日 朝刊 11面 3段 表 0643

日本航空 国際運賃値上げ 燃料高騰受け来月から

東京新聞 05年06月04日 朝刊 9面 2段 0911

エクセル航空が花火クルージング

首都圏の夏、空から満喫

フジサンケイビジネスアイ 05年06月04日 朝刊 8面 3段 写1001

アジアビーチの需要回復へ 4社が共同プロモ

6月から10カ月間 15万人の取扱い目指す

週刊観光経済新聞 05年06月04日 朝刊 21面 4段 写 0082

ブラジル航空が表明 リオ路線運航 現状では困難

中日新聞 05年06月03日 朝刊 11面 1段 1175

スターアライアンス 世界の航空首脳、中部空港で会見

「スイス」加盟 計18社に

中日新聞 05年06月03日 朝刊 11面 5段 写表 1170

スターアライアンス スイス航空加盟を承認

中国航空にも働きかけ

日刊工業新聞 05年06月03日 朝刊 16面 3段 写 0121

スターアライアンス 予約システム開発へ

手数料を削減

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月03日 朝刊 13面 3段 2357

楽天トラベル 海外航空券事業を強化

予約情報、航空会社へ提供 販売効率化を後押し

日経流通新聞MJ(日経テレコン21) 05年06月03日 朝刊 7面 4段 写図 2451

ANAなど加盟の航空会社連合

成田での国内・国際線乗継ぎ 来夏から最短45分に

日本経済新聞 05年06月03日 朝刊 13面 3段 1544

成田空港の着陸料値下げ 騒音別料金導入

産経新聞 05年06月03日 朝刊 8面 1段 1719

成田国際空港会社 着陸料最大3割引下げ

10月導入めざす

フジサンケイビジネスアイ 05年06月03日 朝刊 9面 3段 1928

成田国際空港 成田空港使用料 1割強下げ提案

航空各社は「不十分」

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月03日 朝刊 13面 3段 2355

中国 04年の民間航空会社輸送実績

米国、ドイツに続き世界3位

フジサンケイビジネスアイ 05年06月03日 朝刊 14面 3段 1963

エアーパラダイス国際航空 バリー関空路線休止

津波の余波なお

日経流通新聞MJ(日経テレコン21) 05年06月03日 朝刊 13面 3段 2478

エアバスが見通し「A380」引渡し2-6カ月遅れ

日本経済新聞 05年06月02日 朝刊 9面 1段 写 1327

アメリカウエストと合併 「USエアウェイズ」

商標存続か

フジサンケイビジネスアイ 05年06月02日 朝刊 22面 3段 写 1781

追跡 強さの源泉＝ティエフケー 本社工場

機内食、効率と味両立

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年06月02日 朝刊 19面 4段 写 2219

米国のエバーグリーン国際航空が中部空港乗入れ

中日新聞 05年06月01日 朝刊 9面 1段 1933

航空機紛争 WTOにパネル要請 米国、EUの協議が決裂

中日新聞 05年06月01日 朝刊 10面 3段 1941

2005年05月31日 00時00分 問題山積のJAXA 宇宙開発長期ビジョン 松浦 晋也 nikkeibp.jp Mail 朝刊

(1): 選択も集中も生かされていない総花的な内容

<http://nikkeibp.jp/wcs/leaf/CID/onair/jp/elec/377760>

2005年06月01日 00時00分

(2): 有人宇宙分野で継続してしまった戦略なき対米追従

<http://nikkeibp.jp/wcs/leaf/CID/onair/jp/elec/377761>

2005年06月02日 00時00分

(3): 再利用とスペースプレーンの先入観から抜けきれず

<http://nikkeibp.jp/wcs/leaf/CID/onair/jp/elec/377762>

2005年06月03日 00時00分

(番外編): 研究だけだった旧NALをいかにしてJAXAへ統合するか

<http://nikkeibp.jp/wcs/leaf/CID/onair/jp/elec/377765>
